

株式会社八百丹



平成30年(2018年)1月に(株)八百丹を設立し、正社員4名とパートさん2名の計6名で営農しています。最近、農福連携にも取り組んでいます。また、万が一の災害に備えるために収入保険に加入し、将来を見据えた農業経営をしています。



八百丹は京都北中部の山間部にあり、丹波地方ともいわれています。大変自然豊かな地域で、秋から冬にかけては朝晩の温度差により丹波霧という特有の濃い霧が発生します。



パイプハウスは27棟あります。一年を通してハウスで京みず菜、ホウレンソウ、小松菜などの葉物野菜を栽培しながら、季節ごとに果菜類・果物や露地野菜（紫ずきんや大豆）を栽培しています。直売所、JA京都にのくに、給食施設、地元スーパーとさまざまな販路を通じて出荷しています。

八百丹では地元で根差した農業を心掛けています。丹波の気候・四季に合った農業を行い、地元の方に安心・安全でおいしい野菜を届けています。また、この丹波で同じように農業に挑戦してみたいという方を募集しています。

新たに就農すると、まず集落での人間関係に苦労する人が多いです。相談に乗ってあげたいという思いから、巣立っていく研修生には自身のツテを生かして、できる限り弊社の近くの農地を用意しています。

地域の農業を守るには、新規就農者は絶対に必要であり、地域の担い手に育ってほしいという思いを持って、研修生を受け入れています。



株式会社八百丹は、もともと個人経営の三崎農園から始まりました。僕もIターンの新規就農者です。1999年に夢を叶えて農業を始めました。営農開始して5、6年たつ中で、高齢化による深刻な担い手不足を実感するようになりました。そのため、仲間づくりと地域活性化を兼ねて、2008年から京都府農業会議の紹介や就農相談会を通じ、現在まで6組の希望者を受け入れ、全員が地元地域に独立就農されました。それぞれ個性を発揮しながら楽しんで営農されています。また地元三和町には現在約20戸の新規就農者が活躍していて、皆さんお互いに切磋琢磨しながら農業をしています。三和では京野菜の万願寺甘とうがらしの栽培をされている方が多いです。

新規就農希望者の方、夢や目的などをぜひ聞かせてください。いっしょに夢の実現方法を考えましょう。

八百丹 HP



研修生募集

Youtube



八百丹紹介

Youtube

